

患者さんへ

「大動脈解離に対する手術を受けた患者の疫学的調査と死亡率増加の要因解明： 新たな危険因子の同定と対策の模索」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2018年1月～2023年10月に当院で大動脈解離の手術を受けられた患者さん
2 研究目的・方法	急性A型大動脈解離は急性発症し、緊急手術を要する疾患です。発症後に致死率が1時間あたり1～2%上昇し、外科手術を行わなければ48時間以内の致死率が50%といわれています。そのため診断された後は、可及的速やかに緊急手術を行うことが最も大切です。手術をしても院内死亡率がまだ10%を超えるきわめて予後不良な疾患のため、今回の研究は、当院における大動脈解離の疫学的検討、治療方法、治療成績を把握します。そして、さらなる救命率向上のために早期と遠隔期死亡の新たな危険因子を検討することを目的として、患者さんの臨床情報を診療録より取得させていただきます。 研究の期間：施設院長許可(2023年11月予定)後～2024年10月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	背景情報(年齢、性別、身長、体重、病名、現病歴、既往歴、併存症、内服歴、重症度など)、画像診断(X線写真、CT検査、超音波検査など)、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数など)、治療・管理で使用した薬剤、デバイス(気管挿管、透析など)、検査(動脈血ガス分析、一般血液、血液生化学、凝固機能検査など)等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：宇治徳洲会病院 麻酔科 清水優 住所：〒611-0041 京都府宇治市槇島町石橋145番 電話：0774-20-1111(代表)(受付時間：9時から17時まで)